

平成29年9月6日

地域エネルギー会社による地域活性化研修会

全国の地域新電力分析より

公益財団法人東京都環境公社
東京都地球温暖化防止活動推進センター（クール・ネット東京）
創エネ支援チーム 北橋みどり

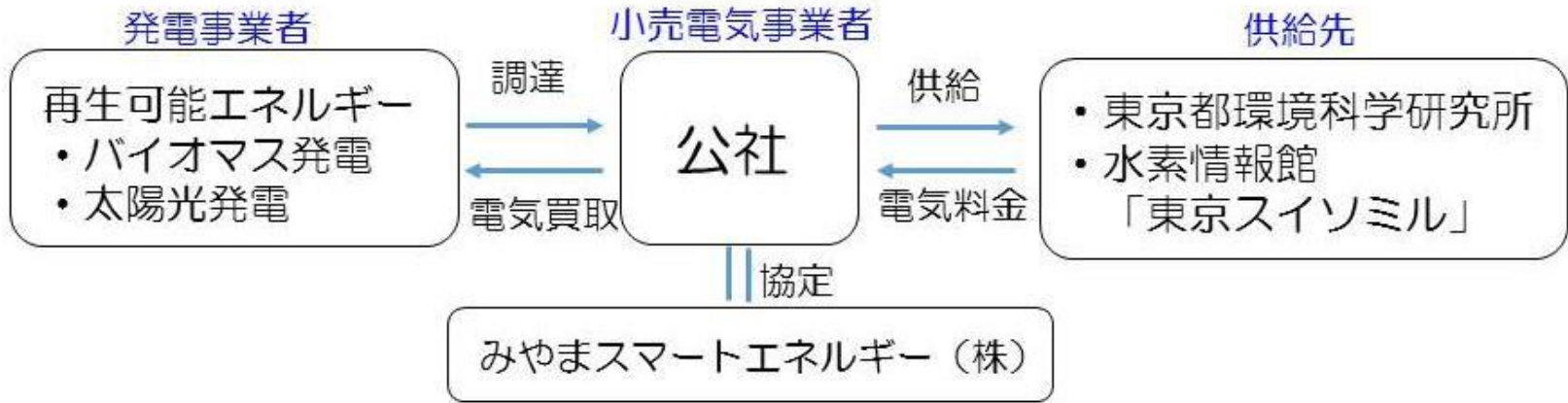


FIT電気供給モデル事業URL : <https://www.tokyo-co2down.jp/action/efforts-renewable/fit-2/>
e-mail: cnt-jukyu@tokyokankyo.jp



東京都環境公社のFIT電気供給モデル事業

平成28年5月 小売電気事業者として登録 同7月 電気事業開始



目的

ノウハウ提供



再エネ
を活用した
新電力の増加

再エネの
利用促進

公社の事業の発電事業者・協力事業者

発電事業者



バイオマス発電（宮城県気仙沼市）

- ・ 気仙沼地域エネルギー開発（株）
- ・ 地域の間伐材利用
- ・ 震災復興事業として実施



太陽光発電（東京都調布市）

- ・ 調布まちなか発電（株）
- ・ 調布市公共施設の屋根を借りて設置



協力事業者

みやまスマートエネルギー（株）
（福岡県みやま市が55%出資）



新電力の状況 分析



① 出資方法

- 自治体出資型
(出資金額は数百万がボリュームゾーン)
- 自治体登録・協定型



② 目的

- エネルギーの地産地消 (地域での資金循環)
- 電気料金の低減
- 雇用創出
- 行政サービスの充実
- 再エネ利用促進



③ 需給管理方法

- 自前管理
- 他社委託



④ 自治体間連携

- 電力融通/ノウハウ共有
- 発電地と電力消費地の連携
- 地域新電力への共同出資



①. **需要に見合った電源の確保**



②. **需要（顧客）の確保**



③. **目的の明確化
（目的に沿った運営を）**



④. **協力者の確保**

新電力に関する疑問・不安！？



Q1：予測が外れると、
需要家が停電する！？

Q2：24時間、監視する
必要があるの？

Q3：需給予測って難
しい？

Q4：再エネ電気を使う
と電気代は高くなる？



A1:自動的に補給
されるので大丈夫。

A2：1日1回の計
画提出でも。

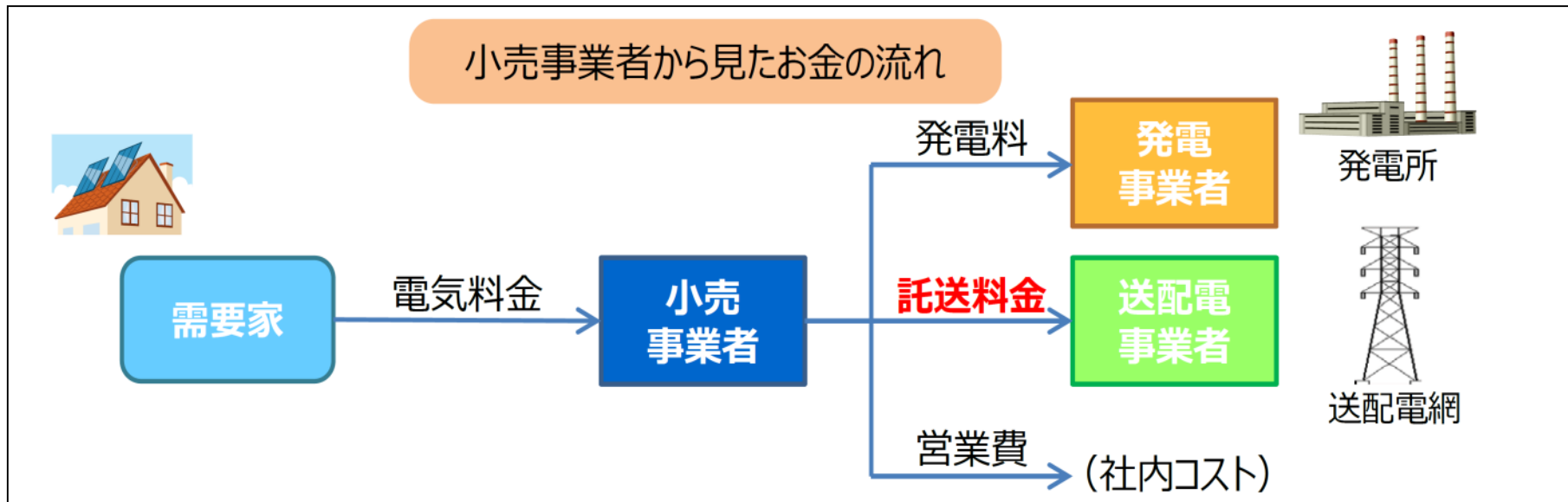
A3：過去の利用
状況から推察。



A4:旧一般電気事業者より若干安
くしているところが多いようです。

料金・収支 電気料金の構造

小売事業者から見たお金の流れ



発電料

託送料金

社内コスト

利潤

環境・地域社会のための考察



①地域の将来像からバックキャストिंगで
温暖化対策・エネルギー・まちづくりを包括的に



②省エネは両得
自治体側の温暖化対策、需要家の光熱費削減



③再エネ発電を増やすことが重要

